

新入荷商品のご紹介



工芸キモノ 野口 夏名古屋帯

暑い夏を涼やかな気持ちで過ごすためにおしゃれな名古屋帯。工芸キモノ野口さんの上質な手仕事と涼やかな風鈴の柄でこの夏のベストコーディネイトを。

143000円



笠仙 紅梅小紋

アザミや鉄線など夏の草花を配した定番のクラシック系浴衣。上質な手仕事で作り上げられる柄と綿紅梅の生地が涼やかさを演出します。

73700円



有松絞り ゆかた

有松絞りのシンプルな藍のゆかたは、飽きがこずに博多帯などと合わせて大人の着姿に。やっぱりいいですね。

51700円



嵐山よしむら

夏場のおしゃれアイテムに嵐山よしむらのかごバッグ。和装だけではなく洋装でも重宝しそうです。

19800円

かごバッグ

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2020年6月号

ごあいさつ

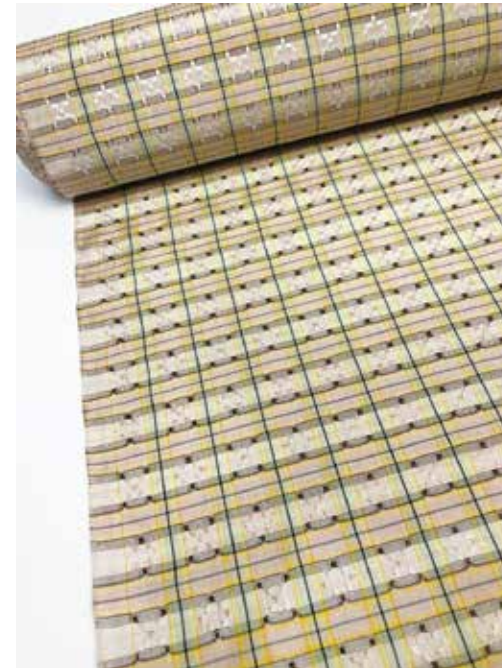


少しずつ、普段の生活を取り戻しつつありますが、まだまだ気を抜くわけにはいきませんね。今月から竹次郎カフェは万全の体制で再開していきたいと思います。安らぎのひと時をお過ごしください。

7月の連休

6月30日(火) 7月1日(水)

特集 与那国織の魅力



私的なことですが、最近沖縄の織りに魅力を感じています。4月の新聞では読谷座花織を取り上げましたが、沖縄は日本でありながらも独特の風土と伝統を有しており、日本の織物のルーツともいべき染織が数多く存在しています。そんな中でも、今回ご紹介する与那国織は、こんなに美しい織物があるのだろうかと思ってしまうほど、魅力的な織物です。日本最西端の島、東京からは2000キロ。あと100キロあまり行けばそこはもう台湾という、位置関係にあり、今ほど情報や交易が発達する前にはおそらく台湾などの影響の方が強かったのではないかとされる島「与那国島」。そこで脈々と受け継がれ織り継がれてきた織物が与那国織です。与那国島の織物の歴史はもうすでに室町時代には着した朝鮮人によって確認されています。与那国織の特徴は、何といても花織と呼ばれる、糸を浮かせて柄を構成する織り方。読谷座、知花、首里というように沖縄には様々な花織が存在



しています。花織の魅力を一言でいえば、織物でありながらも気品と華やかさを有していること。織物はそもそも庶民の普段着として生まれた歴史を考えると、素朴で温かみのあるものが多い中、花織はどちらかというと、華やかにコーディネートをすることが出来ます。当店のおすすめの型絵染など個性的な帯とも合いますし、気品あふれる袋帯などと合わせても負けないだけの存在感ある織物です。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539